

Seki Gocoro

2019
02

No.1696



SEKI

広報せき



巻頭
特集

図書館探訪

関心

SekiGocoro 02

TOPICS

パブリックコメント募集 ……6P

関まつりに参加しませんか…6P

確定申告がはじまります ……12-15P

INFORMATION ……20-31P



図書館探訪

本には、先人たちが体験して得られたことや教訓、知識がたくさん詰まっています。著者の思考や価値観に触れ学ぶことで、これからの自身の行動に生かしていくことができます。

数え切れないほど多くの本を所蔵し、知識の宝庫ともいえる図書館ですが、貸し出し以外にも様々な取り組みがされていることをご存知でしょうか。いつもと違った角度から見た関市立図書館をご紹介します。

320,000冊

関市立図書館の本の蔵書数（平成29年度末時点）。岐阜県内の図書館では5番目に多い。日々増えていく本すべてを図書館のフロアに置くことはできないため、地下に書庫を整備して保管しています。



124,640人

1年間に図書館で本を借りた人数（平成29年度末時点）。



2018年
年間ベストリーダー 90回
2018年に1番多く借りられた本の利用回数



70年

関市立図書館の始まりは、昭和22年に開設された関町公民館の図書室から。実に70年の歴史があります。館長、塚原さんがおすすめする3月中に読んでほしい本はこちら！



- 1位 東野圭吾 『祈りの暮が下りる時』
- 1位 恩田陸 『蜜と遠雷』
- 3位 東野圭吾 『虚ろな十字架』
- 4位 東野圭吾 『マスクレードナイト』
- 4位 矢部太郎 『大家さんと僕』
- 6位 辻村深月 『孤城』
- 3位 東野圭吾 『雑貨店のナミヤ奇蹟』
- 2位 東野圭吾 『虚ろな十字架』
- 1位 東野圭吾 『祈りの暮が下りる時』

『考え方』

著者：稲盛和夫 出版社：大和書房
「人生が良い結果となる考え方とは何かを教えてください。これから新たな一歩を踏み出そうとされる方におすすめです。」

『あのとき、そこにきみがいた。』

作・絵：やじますみ 出版社：ポプラ社
「熊本地震の被災地でボランティアとして献身的に働く中学生のお話。ひたむきな行いが、いかに多くの人を元気づけるか、ぜひ小中学生に読んでもらいたいですね。」

90回

41回

1,545冊



数字で知る

関市立図書館



70年

124,640人

320,000冊

41回

図書館主催のイベント回数。
(平成29年度)

子ども向けの体験型イベントをはじめ、大人も楽しめる紙芝居や寄席、生活に役立つ講座も行っています。



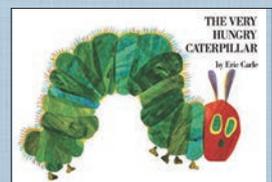
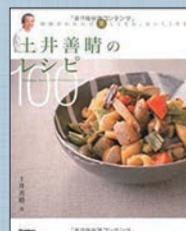
1,545冊

電子図書館の本の蔵書数(平成30年12月現在)。昨年2月にオープン。普段、図書館に行くことができない方も、いつでもどこでも手軽に読書を楽しめます。

過去5年
▼ ベストリーダー



- 3位 東野圭吾 『雑貨店のナミヤ奇蹟』
- 2位 東野圭吾 『虚ろな十字架』
- 1位 東野圭吾 『祈りの暮が下りる時』



せき・わかくさ文庫

自分の知りたいことを知る場所



文庫の館内での閲覧はできますが、原則貸出はできません。
(※複本がある場合は、貸出可能。)

せき・わかくさ文庫は、平成11年に関市の伝統文化と産業を後世に伝承するために作られました。図書館が文化会館にあった平成7年に準備が始まり、郷土資料としてまとめられていた図書を重点収集資料の「円空」「刀剣」「刃物」「惟然」の4つのテーマに分けましたが、市町村合併後、地元の声で「仙厓」(旧武儀郡武芸川町出身)が加わり、現在の5つの姿に。

蔵書は、図書・雑誌や視覚資料合わせて、およそ二万点。うち、5分野で約六千点の資料を所有しており、刀剣は半数の約三千点とその蔵書数は豊富です。(蔵書数は、平成30年12月現在)

「近年の刀剣ブームによって、若い女性の利用者が急増したり、関市出身の学生が、刃物を卒業で取り上げるため、ゼミ仲間と訪れたり」と、せき・わかくさ文庫がより身近な存在になってくれたことが、とてもうれしいです。」長きに渡り、携わってきた亀山さんの顔がほころびました。



関市図書館 館長補佐
亀山 並枝さん

せき・わかくさ文庫 5

enku 円空

せき・わかくさ文庫内に展示してある円空仏の写真。全77巻の「円空の彫刻」の写真集(後藤英夫撮影)を所蔵するのは、関市図書館のみ。



inen 惟然



惟然の句「時雨れけり 走入りけり 晴れのけり」が、フランス人作曲家のジョルジュ・ミゴ(1891-1976)作曲の「日本の7つの小さなイメージ」中で、オペラに。フランスの骨董屋で発見された楽譜(写真上)は、館内の貴重書庫で保管。



武芸川町出身の仙厓は、福岡の寺で住職として活躍。芸術家として才能も持ち、多くの禅画や俳句を残した。○△□図は、(写真左の本の表紙)は、大変有名。

sengai 仙厓

token 刀剣

刀剣は、5分野の中で一番種類が豊富で充実している。最近では刀剣女子が熱心に書物を読む姿が急増中。



hamono 刃物

世界に誇る関の刃物。赤い背表紙の愛刀(写真左)は、昔の刃物に関する冊子がまとめてあり、とても興味深い。(※閉架で保管)

貴重書庫

図書館の地下には、多数の古文書を保管する「貴重書庫」があります。個人所有の土蔵などから見つかった手紙・はがき・絵地図・勉学の書物もあり、古くは江戸時代天明の様子がわかるものも。刃物関係の商売に使われた帳簿や得意先が記された関市ならではの記録からは、当時の様子が伺えます。



1



2



1 古太刀装束正写卷子・・・古太刀の装束を解説した巻物。

2 慶長以来新刀弁疑・・・鎌田三郎太夫の日本刀の研究書。

図書館を支えるボランティア

貴重書庫にある史料を「ただ保存するだけでなく、この宝を後世に残していきたい」と古文書に興味・関心を持つ市民の皆さんが整理のお手伝いをしています。



もんじよせいり
文書整理

本の修理



図書館の本は、多くの方が借りるため、どうしても本が傷みます。そこで、本を愛する市民の皆さんが集まり、修理のお手伝いをしています。

布小物作り

図書館イベントで使う小物を作るボランティア「ちくちく」。布製の絵本やぬいぐるみなどを製作し、多くの人が本に親しみ、楽しんでもらえるよう活動しています。




平日 午前10時～午後8時
土・日・祝 午前10時～午後5時
ADDRESS 関市若草通2-1
TEL 0575-24-2529
FAX 0575-23-7780
MAIL lib@city.seki.gifu.jp